

今日のタイトルはちょっと難しい言葉ですが、神様が私たちの心に住んでいてくださるという、イエス様がいつも一緒にいてくださるという、そういうお話です。

1. のぶ先生は、今日も元気に自転車通勤。すいすい〜っと愛車を走らせていまーす。
2. ところが…あれ〜、何かおかしいぞ〜！？ ……そうです、タイヤがパンクしてしまったのです。パンクは、英語では flat tire ですね。

さて、今日はいきなりここで問題です！

のぶ先生の愛車は、なぜパンク(flat tire)してしまったのでしょうか？ いつものように三択です。

3. (1)ホチキスの針が刺さっていた

ホチキスは英語では Stapler と言いますね。ホチキスの針、つまり stapler の staple が刺さっていたので、タイヤがパンク(flat tire)してしまった。

4. (2)ぶっとい釘が刺さっていた

ホチキスの針(stapler の staple)くらいじゃ、自転車のタイヤはパンク(flat tire)したりしませんよね。そんなんじゃないかって、ぶっとい釘、五寸釘なんて日本じゃ言いますが、そんな太い釘が刺さったので、のぶ先生の自転車は走らなくなりました。

5. (3)何者かによってまきびしがまかれていた

Redwood City には時々忍者が出没します。その忍者がのぶ先生を倒そうとして、まきびしをまいていた。

6. (1)ホチキス(stapler)の針 (2)ぶっとい釘 (3)忍者のまきびし ……さて、どれが答え？

7. 答えはなんと、(1)のホチキスの針、stapler の staple でしたー。

こんなちっちゃな針が、大きな自転車を走らなくさしてしまうなんて、のぶ先生も驚きました。これは、のぶ先生自身、そしてみんなも同じだなーって、そんなことを思いました。

小さなことのように思える出来事でも心に突き刺さると、それで傷ついて、心がぺちゃんこになります。小さなことでもずっと心に残って、苦しくなってしまうことがあります。

8. だけど、私たちの心の傷、苦しみ、痛みを、神様は治してくださいます。

「その人のところに来て、その人とともに住みます。」 ヨハネ14 : 23

神様は私たちの心に共に住んでくださるお方です。神様が一緒なら、傷ついても、悲しくっても、苦しくっても、また立ち上がって歩いていくことができますね。

イエス様はいつも共にいてくださるお方です。

おしまい。